

2026.10

岡山市 IR

OKAYAMA CITY IR MATERIALS

岡山市



財政局 財務部 財政課

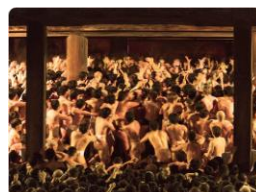
目次



00		岡山市債の投資ポイント 財政の健全性、流動性、調達予定	02
01		市長メッセージ 市政運営と成長への考え方	03
02		岡山市の概要 プロフィール／人口・経済／拠点投資／SDGs・GX	04-12
03		岡山市の財政状況 決算／財政指標／市税／市債／市場公募債	13-17
04		令和8年度 当初予算 予算規模／主要事業／アリーナ整備	18-22
05		お問い合わせ IR窓口	23
06		資料編	別冊



吉備津神社



西大寺会陽



うらじゃ



造山古墳



岡山市債の投資ポイント



財政の健全性、流動性、調達予定

01



健全性を示す 財政指標

- R7実質公債費比率

5.4%

- R7将来負担比率

－% ※

R6実質公債費比率は政令市平均6.7%を下回る水準。R12年度の目標値を「政令市平均値以下」に設定。

※充当可能財源等が将来負担額を上回るため「－」表示。

02



十分な基金残高と 堅調な市税収入

- R7年度末 財源調整のための基金残高

408億円

市税収入 1,421億円／徴収率 98.2%

財政調整基金は標準財政規模の10～20%を目安に運営。(200億円～400億円)

03



計画的な市債活用と 実質負担の抑制

- R8年度 市債発行額(一般会計当初予算)

437億円

交付税措置 172億円／
実質的な市負担 265億円

交付税算入の多い有利な市債を活用し、市の実質的な負担を軽減。
財政の健全性に留意しつつ、必要な事業を計画的に実施。



岡山市長メッセージ



MESSAGE

“わくわくする”桃太郎のまち岡山

「暮らしの質の向上」と「都市の成長・活力の創出」の好循環を、「安全・安心」が支え、「愛着・誇り」を高めます。

FOUR PERSPECTIVES / 4つのまちづくりの基本的な視点

01 暮らしの質の向上

多様な選択肢・希望がかなう
誰もが活躍できるまち

02 都市の成長・活力の創出

圏域をリードし、新たな価値と
つながり・交流を創出

03 安全・安心の充実

災害に強く、地域で支え合う
快適・便利な暮らし

04 愛着・誇りの醸成

地域を知り、磨き上げる
魅力発信と協働・共創



大森 龍夫

(おおもり まさお)

岡山市長

(4期目：令和7年10月～)

PROFILE

昭和52年～平成25年
建設省(現 国土交通省)
平成25年10月
岡山市長就任



岡山市の概要



人口

709,799人

2025年10月1日現在



市域面積

789.95 km²

2025年10月1日時点

01 晴れの日が多い



降水量1mm未満の日は年276.7日。
県庁所在地で第1位。

02 地震が少ない



1919～2024年の震度4以上の地震回数は、
都道府県別で全国2番目に少ない。

03 良質で安定した水



旭川・吉井川を水源に、1905年から続く
都市水道が暮らしと産業を支える。

04 果物王国



白桃、シャインマスカット、ピオーネなど、
全国に知られる高品質な特産品。

DRY DAYS

降水量1mm未満の日数で見る「晴れの国」

平均して4日のうち約3日

276.7 日 / 年

岡山



276.7

東京



262.5

全国平均



247.6

230 240 250 260 270 280

出典：気象庁「過去の気象データ検索」現行平年値（1991～2020年）

FRUIT KINGDOM

果物王国 岡山

ふるさと納税で、岡山の
未来を応援

寄附・制度のご案内



岡山特産の桃・ぶどうをはじめ、地場産品や
旅行クーポンを用意。



政令指定都市の中でも高い生活基盤



医療、福祉、教育などの分野で高度な都市機能が集積



岡山市立市民病院

住環境

- 都市公園面積 | **16.9m²／人**
大都市統計協議会「令和5年 大都市比較統計年表」より
- 家賃(民間借家)の安さ | **4,179円／3.3m²**
総務省「2024年 小売物価統計調査(動向編)」より
- 物価水準の低さ | **指数97.7**
総務省「2024年 小売物価統計調査(構造編)」より
- 通勤時間の短さ | **片道25.2分**
総務省「令和5年 住宅・土地統計調査」より
- 百貨店・総合スーパー数 | **6.49施設／10万人**
経済産業省「2023年 商業動態統計」より(都市別最終年)

医療・福祉／教育・文化

- 病院病床数 | **1,547.7床／10万人**
厚生労働省「令和6年 医療施設調査」より算出
- 医師数 | **432.1人／10万人**
厚生労働省「令和6年 医師・歯科医師・薬剤師統計」より
- 大学・短大学生数 | **4,380.6人／10万人**
文部科学省「令和7年度 学校基本調査」等より算出
- 文化施設数 | **2.76施設／10万人**
大都市統計協議会「令和5年 大都市比較統計年表」より算出
- 図書冊数 | **4.9冊／人**
大都市統計協議会「令和5年 大都市比較統計年表」より
- 国指定史跡数 | **18か所**
大都市統計協議会「令和5年 大都市比較統計年表」より



岡山市の将来人口と人口構成比の見通し



72万5千人

令和2年国勢調査人口

64万3千人(令和32(2050)年推計)

約8万2千人減少する見通し

人口構成の変化(2020 → 2050)



●生産年齢人口の減少率は、政令市中 **8位**

岡山市

△20.7%

20市単純平均

△22.3%

順位(小さい順)

8 / 20

20市平均より 1.6pt 緩やか



●総人口の減少率は、政令市中 **9位**

岡山市

△11.2%

20市単純平均

△11.7%

順位(小さい順)

9 / 20

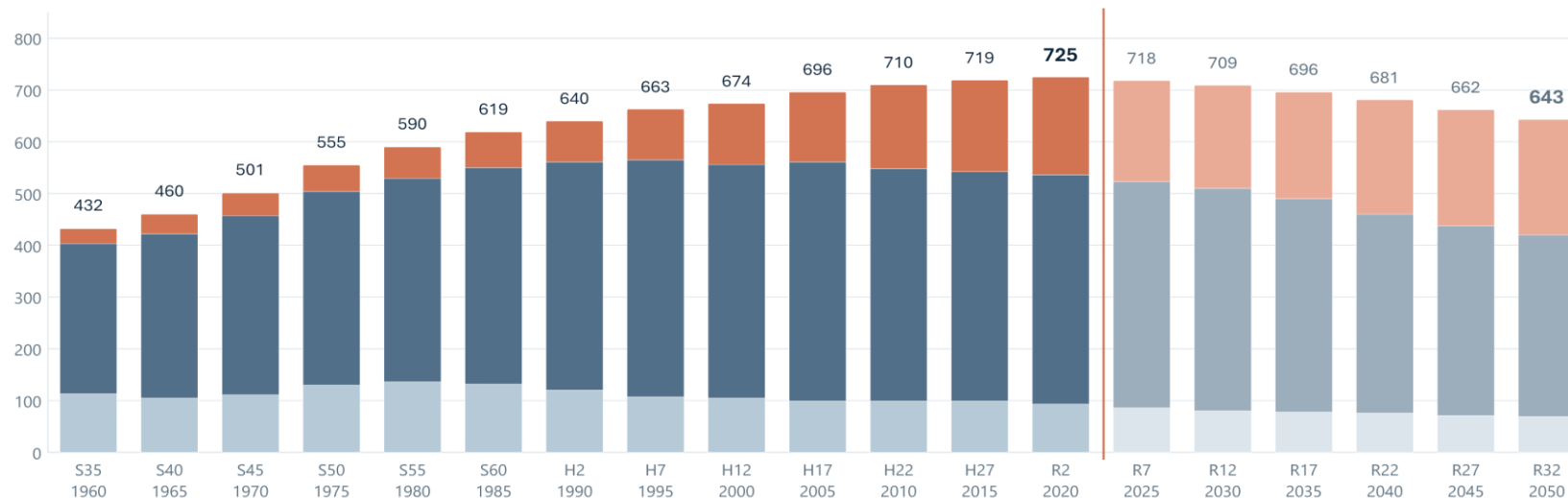
20市平均より 0.5pt 緩やか

年齢3区分別人口の推移

実績 1960-2020

推計 2025-2050

●年少人口 ●生産年齢人口 ●高齢者人口 単位:千人



【出典】実績値:総務省「国勢調査」(平成27(2015)年及び令和2(2020)年は不詳補完値による。)
推計値:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



東西・南北の交通軸が交わる、中四国の広域交通拠点



鉄道・高速道路・空港がつながり、人流・物流・交流を支える

RAIL | 鉄道

すべての新幹線が停車

東京 約3時間9分

新大阪 約44分

JR岡山駅 山陽新幹線 + 在来線7路線が乗り入れ

EXPRESSWAY | 高速道路

東西軸 × 南北軸

山陽道と岡山・米子道、瀬戸中央道が交差

山陰・四国方面へ約2時間圏

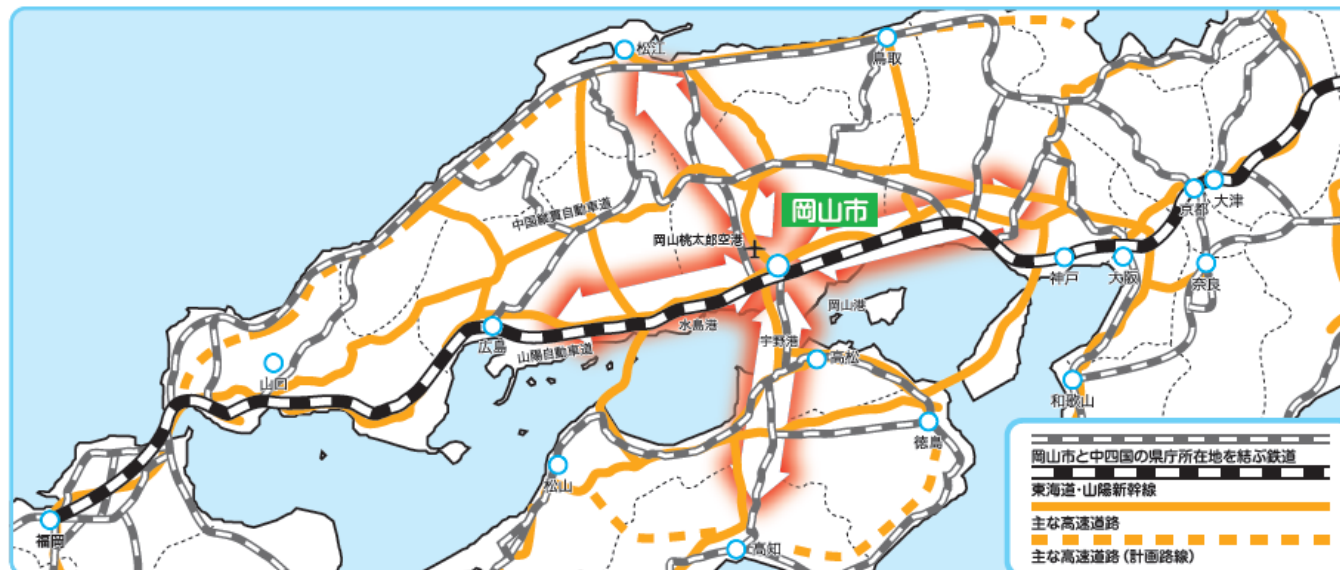
AIR | 空港

国内3路線 | 国際4路線

市中心部から車で約30分

岡山桃太郎空港 無料駐車場約2,900台

中四国のクロスポイント 近畿・九州を結ぶ東西軸と、山陰・四国をつなぐ南北軸が岡山で交差。

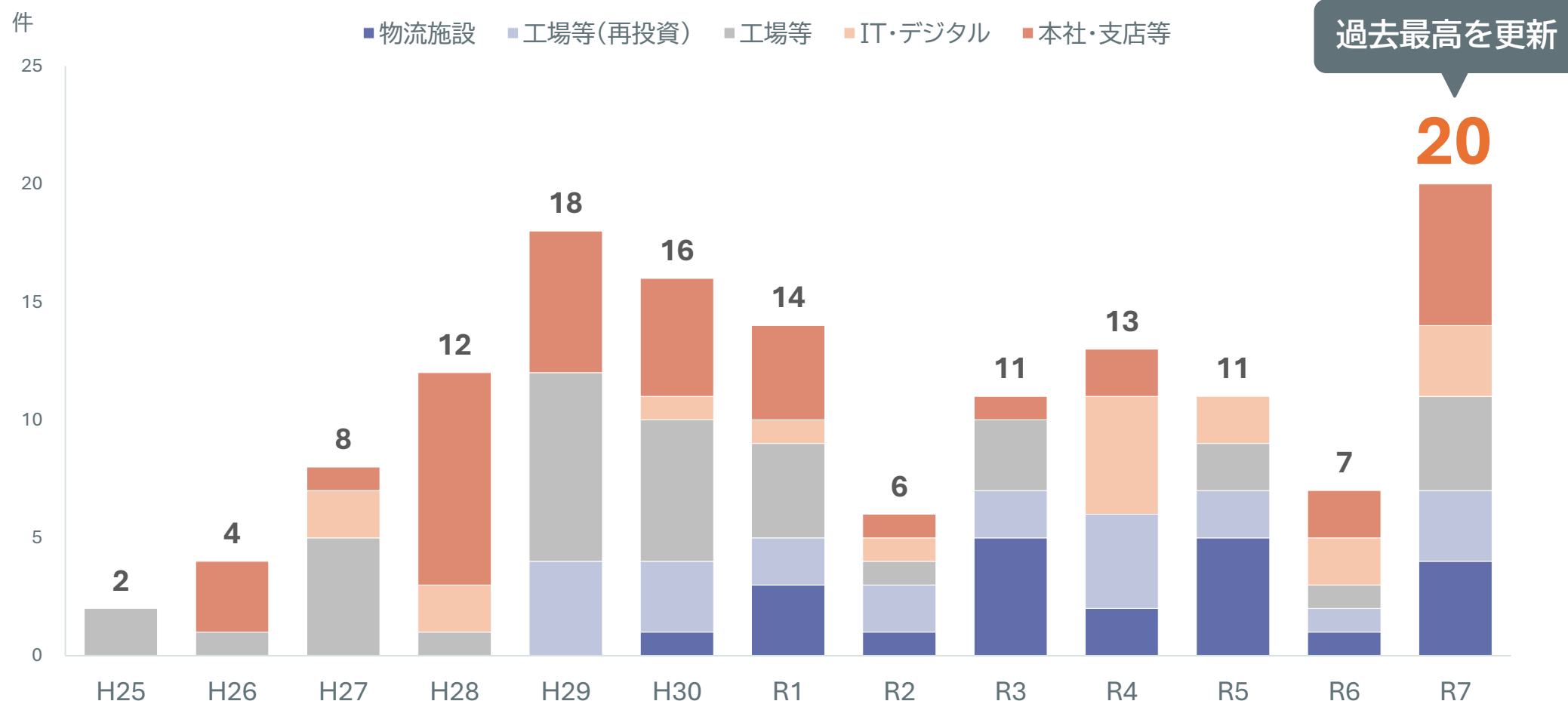


交通利便性を生かし、多様な企業立地を促進



令和7年度の企業立地実績は、開発許可制度の緩和・補助制度の雇用要件の撤廃等が寄与し、公表を開始した平成25年度以降で最も多い件数となる20件になりました。

企業立地件数の推移



市内総生産と民間投資が指定都市上位の伸び

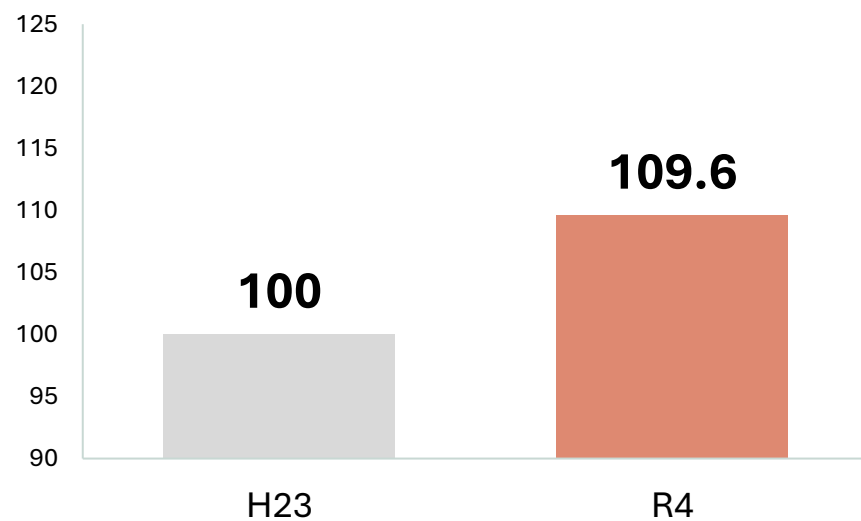


市内総生産

市内で1年間に生み出された財貨・サービスの付加価値

9.6% 上昇

指定都市 **4位**



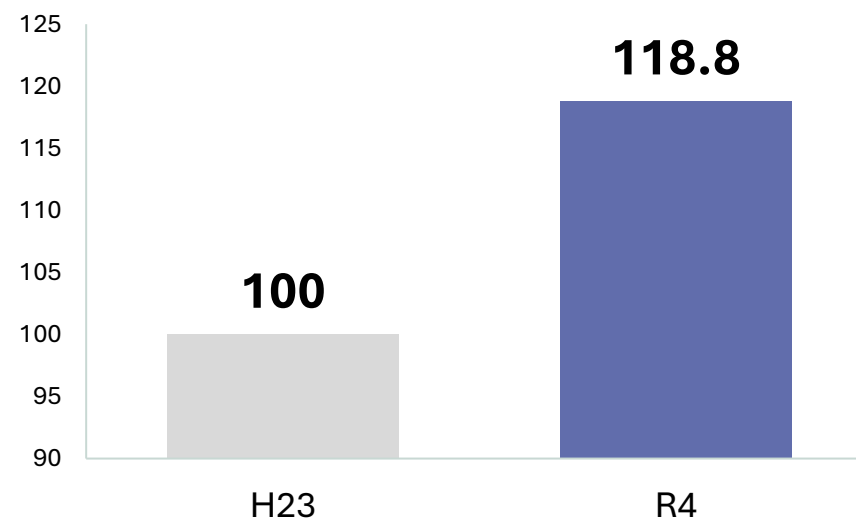
H23を100とした実質指数

民間投資 （企業設備投資＋住宅投資）

市内で行われる建物・設備など固定資産の取得にかかる民間の投資活動

18.8% 上昇

指定都市 **3位**



H23を100とした実質指数

※未推計の指定都市を除く。



拠点投資で、都心の回遊と交流を加速



01 行政・文化

新庁舎が完成

328億円(見込)

R8.5.29完成、11.24全面開庁
災害に強い防災拠点
ZEB Ready認証の環境性能
窓口集約化で利便性向上

ハレノワが文化・回遊を牽引

265億円

R5.9グランドオープン
大・中・小3劇場+11練習室
大劇場 1,753席



02 駅前整備

路面電車を駅前へ約100m延伸

122億円(見込)

R8年度末駅前乗り入れ完成予定
R11年度上半期駅前広場完成予定
乗換時間を短縮し、都心回遊性を向上

駅前町再開発:複合拠点

405億円(見込)

R8.11建築工事完了予定
住宅422戸・ホテル177室



03 交流・成長

北長瀬にアリーナを整備

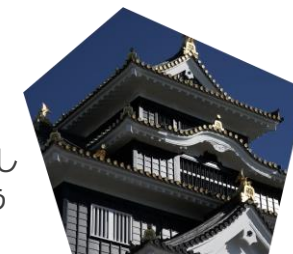
280億円(見込)※R7.11時点

最大1万人収容/年46.6万人来場(想定)
県内波及2,800億円超/20年
PFI方式(BT+コンセッション方式)を想定
R14年度中開業予定

岡山城の令和の大改修

18億円

R4.11完成
現在、歴史・文化をいかし
交流するまちになるよう
岡山城の城郭を中心
とした烏城公園の整備に着手



都心の路線価は、12地点すべてで上昇



都心の主要地点

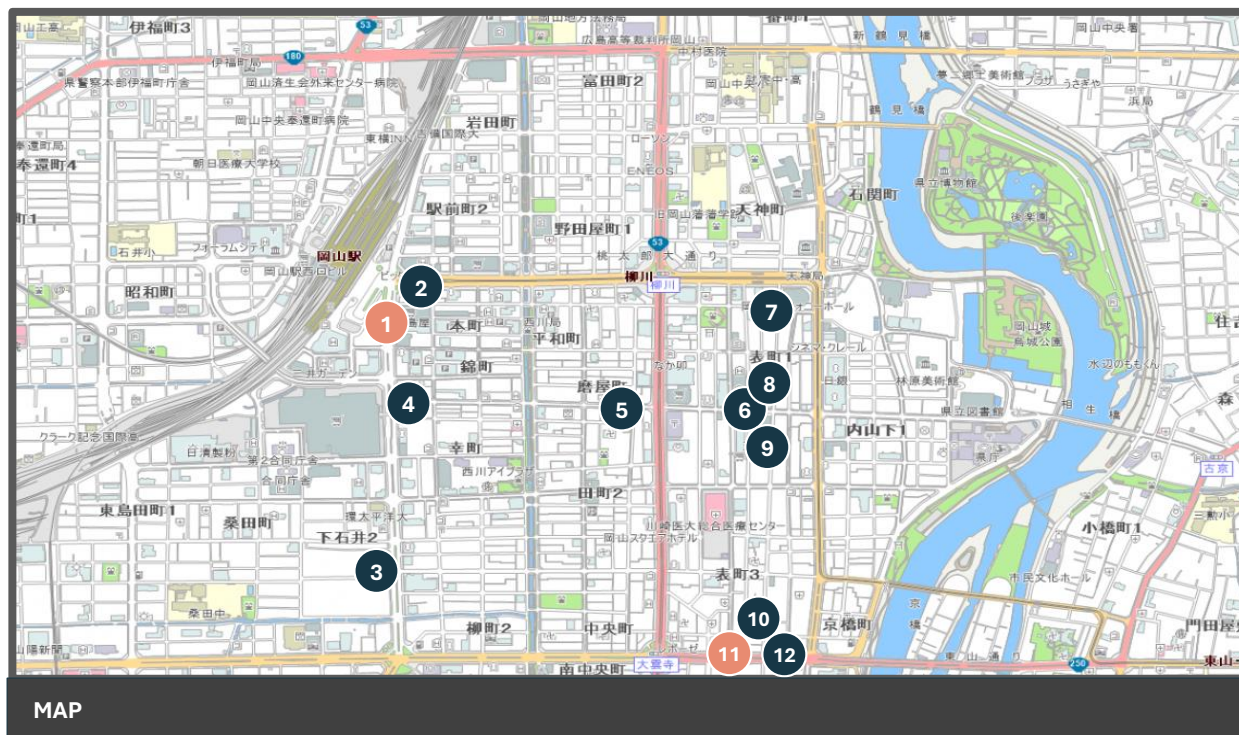
12地点すべて前年比プラス

岡山市の最高路線価

201万円/㎡ | 市役所筋^①
(岡山駅前)

今回の最大上昇率

+9.4% | 国道250号^⑪



● 主要な変化

単位:千円/㎡

市役所筋(岡山駅前)^①

1,480 → 2,010

+35.8% R3 → R8

表町商店街 3地点^{⑦⑧⑨}

205→210 / 225→230

270→275

R7→R8

ハレノワ南^⑫

120 → 190

+58.3%(H29比)

R7・R8 路線価比較

単位:千円/㎡

No.	地点	R7	R8	前年比	R3比
①	市役所筋(岡山駅前)	1,920	2,010	+4.7%	+35.8%
②	桃太郎大通り(岡山駅前)	1,540	1,640	+6.5%	+33.3%
③	下石井2丁目	630	670	+6.3%	+42.6%
④	ハレまち通り(西詰)	550	590	+7.3%	+37.2%
⑤	ハレまち通り(東詰)	350	380	+8.6%	+35.7%
⑥	県庁通り(天満屋北)	500	530	+6.0%	+32.5%
⑦	表町商店街(上之町)	205	210	+2.4%	+5.0%
⑧	表町商店街(中之町)	225	230	+2.2%	+7.0%
⑨	表町商店街(下之町)	270	275	+1.9%	+7.8%
⑩	千日前商店街(ハレノワ西)	105	110	+4.8%	+22.2%
⑪	国道250号	160	175	+9.4%	+34.6%
⑫	国道250号(ハレノワ南)	175	190	+8.6%	+58.3%*

※再開発中は評価なしのためH29と比較
出典:国税庁「令和8年分 財産評価基準書」



三側面のSDGsを推進し、連携する13市町の脱炭素実装へ



経済・社会・環境を横断する重点施策と、2050年実質ゼロに向けた投資を一体で推進。



経済

産業の創出・育成



社会

ESD / 保健・福祉



環境

環境課題の解決

持続可能な社会の実現へ

地域経済の活性化、誰も取り残さない社会、
脱炭素・自然共生を同時に進める。

三側面の施策を、13市町連携のGX投資へ接続



2050

13市町で
二酸化炭素排出
実質ゼロ

岡山連携中枢都市圏を構成する13市町が共同で宣言。再生可能エネルギー、資源循環、電力の地産地消を進めます。

スマートエネルギー導入促進事業補助金
太陽光発電設備・省エネ設備・EVの導入を補助

太陽光発電設備整備
認定こども園・児童クラブ等へ導入

廃棄物発電電力活用
市有施設へCO2フリー電力を供給

プラスチック分別・再資源化
家庭系プラスチックの分別回収及び再資源化を実施



実質収支125億円、健全性を維持



- 実質赤字・連結実質赤字・資金不足はいずれもなし
- 実質公債費比率は5%台で安定(政令市平均以下)
- 将来負担比率は7年連続で「—」

普通会計の決算収支

普通会計	令和7年度	増減	令和6年度
歳入総額	4,451 億円	+372 億円	4,079 億円
歳出総額	4,271 億円	+376 億円	3,895 億円
実質収支	125 億円	△7 億円	132 億円

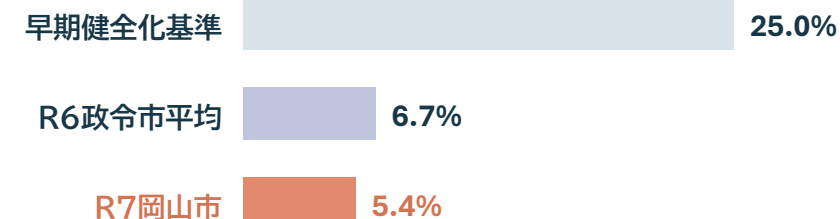
財政健全化指標

指標	令和7年度	増減	令和6年度
実質公債費比率	5.4%	△0.3pt	5.7%
将来負担比率	—	—	—

※充当可能財源等が将来負担額を上回るため「—」表示。

政令市比較

実質公債費比率 | 低いほど健全



将来負担比率は「—」(ゼロ以下)

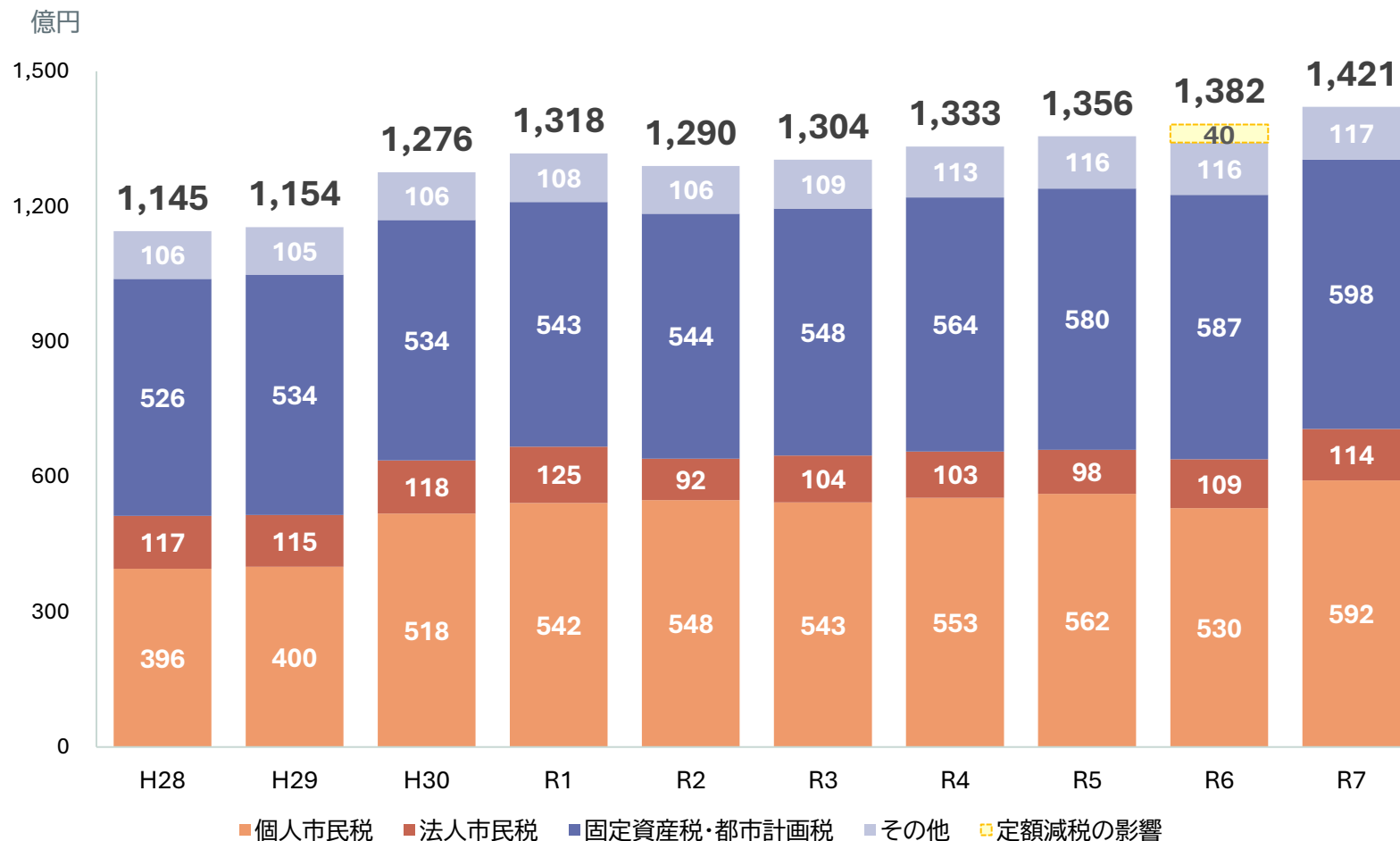
R6決算では政令市20市中5市のみ



市税は5年連続過去最高、R8当初1,436億円



雇用者所得の改善と企業の設備投資を背景に、個人市民税・固定資産税が増加

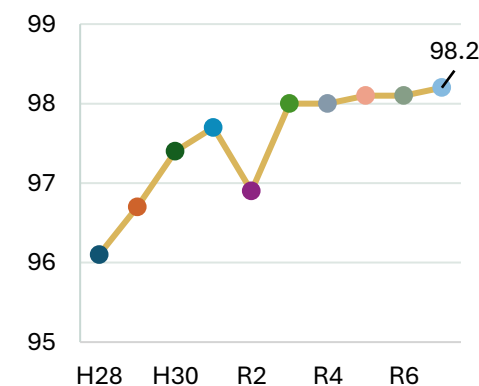


R8当初

1,436

億円

徴収率

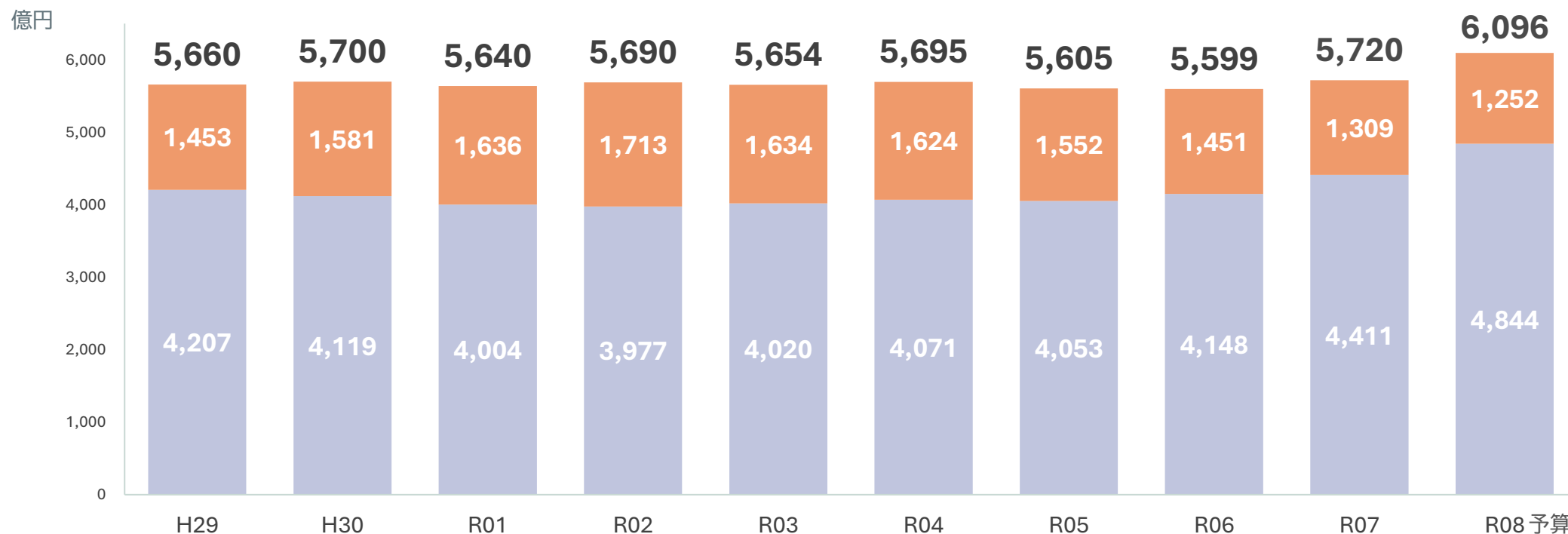


借入増でも、市債残高は近年ほぼ横ばい



新庁舎整備や学校特別教室への空調整備など、喫緊の課題への対応を着実に実施。戦略的な償還で残高を抑制。

市債残高の推移



借入・返済の推移(普通会計)

単位: 億円

	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R8予算
借入額	374	385	328	404	466	416	313	364	465	447
返済額(元金)	△288	△302	△338	△315	△458	△355	△373	△353	△337	△295



市場公募債を安定的に発行



減債基金の着実な積立により、不足額は**ゼロ**

年度	R4	R5 グリーン共同債	R5 個別債	R6 グリーン共同債	R6 個別債	R7 グリーン共同債	R7 個別債
発行額	100億円	10億円	100億円	50億円	50億円	50億円	50億円
償還年限	10年	10年	10年	10年	10年	10年	10年
利率	0.800%	0.846%	0.690%	1.162%	1.281%	2.043%	2.206%
発行日	R5.1.31	R5.11.30	R6.1.31	R6.11.29	R7.1.31	R7.12.25	R8.1.30

令和8年度 発行予定

通常分

80億円(10年)

条件決定: 令和9年1月中旬予定
発行 : 令和9年1月下旬予定

グリーン共同債

20億円(10年)

条件決定: 令和8年9月11日
発行 : 令和8年9月30日



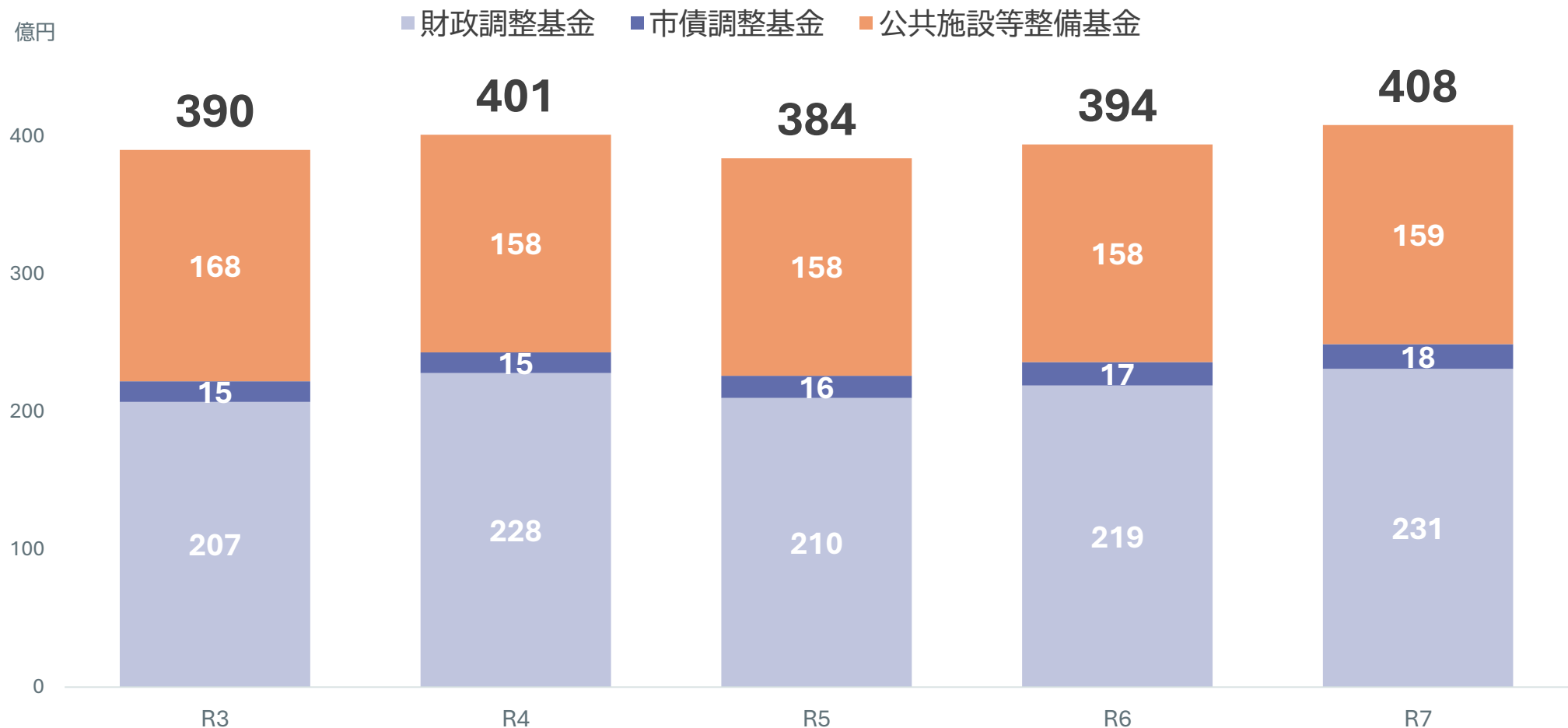
財源調整3基金は一定程度を確保



市債調整基金への計画的な積立てを通じて、将来の市債償還に着実に備える。

※財政調整基金は標準財政規模の10～20%(200億円～400億円)を目安

財源調整3基金の推移(決算)



※市債調整基金は、臨時財政対策債償還基金費及び満期一括償還地方債に係る額を除く。



令和8年度一般会計当初予算は過去最高

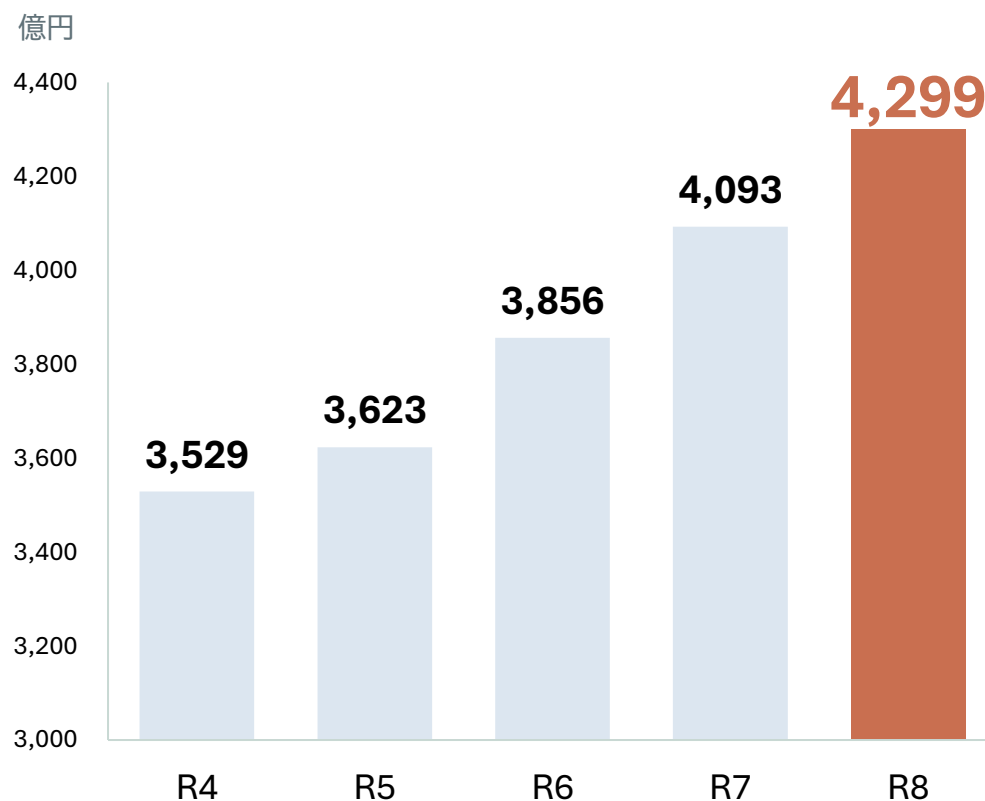


4,299億円

令和8年度 一般会計当初予算

+5.0%

対前年度比



～「“わくわくする”桃太郎のまち岡山」に向けて～

岡山市の将来都市像の実現に向けて、次の政策分野に分けて、事業を着実に進めています。

基本方向1 こども・子育て・教育

基本方向2 協働・多様性

基本方向3 健康・福祉

基本方向4 産業・交流

基本方向5 歴史・文化・スポーツ

基本方向6 安全・安心

基本方向7 都市・環境

基本方向8 都市経営



令和8年度予算での主な事業

こども・地域・健康を、切れ目なく支える



1



こども・子育て・教育

こどもの居場所づくりと社会的自立への支援

2億7,745万円

不登校児童生徒の学びの機会と居場所を広げ、民間施設を利用する世帯の負担を軽減。

学校給食費の保護者負担の軽減

31億1,940万円

小学校給食費を無償化。中学校もR6年度と同水準に抑え、子育て世帯を支援。

GIGAスクール構想によるICT活用の支援

45億2,600万円

1人1台端末を更新し、ICTを活用した学習と学校の支援体制を強化。

2



協働・多様性

地域活動支援

3,323万円

町内会のデジタル化や集会所整備を支援。役員の負担を減らし、担い手不足の解消と参加しやすい環境づくりを推進。

3



健康・福祉

高齢者への定期予防接種

16億1,237万円

自己負担を軽減し、希望する高齢者が接種しやすい環境を整備。

健康寿命の延伸

7,655万円

運動・栄養・食生活の改善・社会参加を後押しし、健康ポイント事業やベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクトを推進。



令和8年度予算での主な事業

交通・企業立地と、歴史文化を次の成長へ



4



産業・交流



岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備

5億8,555万円

路面電車への乗り換えを円滑にし、中心市街地の活性化を図る。また、駅前広場も整備し利便性と魅力を高める。

企業立地の推進

2億9,460万円

IT・デジタル、製造、研究、物流などの企業・施設の新規立地と拡充、市内既存工場の再投資・拠点強化を支援。

5



歴史・文化・スポーツ



「歴史を伝える城・集う城」岡山城の活用

1億7,420万円

イベントやXR展示、宇喜多家を発信する大河ドラマ誘致や史跡整備などを通じて、観光誘客と郷土への愛着・誇りの醸成を図る。

歴史遺産等を活用した観光誘客

6,983万円

造山古墳や万富東大寺瓦窯跡などの歴史・文化遺産の価値やエピソードをわかりやすく発信し、観光誘客を図る。



令和8年度予算での主な事業

安全・環境・行政サービスを、未来に向けて更新



6



安全・安心



水道施設・管路耐震化等の更新

106億300万円

水道施設と管路を更新・耐震化し、災害時にも安定した給水を確保。

道路施設の長寿命化

26億2,802万円

定期点検と長寿命化計画に基づき、道路・橋梁を計画的に修繕。

7



都市・環境



ごみ処理広域化処理施設整備・運営

176億8,630万円

老朽化した岡南環境センターを更新し、サーマルリサイクルなどを推進。また、2市1町の可燃ごみの処理施設を整備し、安定的なごみ処理を実現。

地域公共交通の利便増進

5億4,720万円

バス路線再編や乗継拠点整備、ICカード対応を進め、持続可能な交通網を構築。

8



都市経営

スマート窓口

1億270万円

市民サービス向上のため、「行かない・書かない・待たない・回らない」スマート窓口を実現。



アリーナ整備に係る寄附金の募集について



最大収容者数
約 1万人



概算事業費(R7年11月時点)
約 275億円から280億円



供用開始
2032年度中(予定)

すでに広がる、共創の輪。

寄附受入状況(令和8年8月31日時点)

法人 73件 / 3億1770万円
個人等 60件 / 477万円

御社の参画が、新しい岡山の未来を創り出します。

寄附に対する法人特典 ※寄附募集期間中(5年程度)

- 芳名板へ法人名を掲示
※掲出場所、掲出方法は未定です。
- 感謝状の贈呈

CITY IMPACT

～皆様とともにアリーナを岡山に～

年間約 **46.6万人** の来場者数を想定

これまで岡山では見られなかった規模のスポーツイベント、コンサート、展示会などを開催できる

岡山県内の経済波及効果

2,800億円超

20年間累計

飲食・宿泊・観光など周辺消費へ波及

【企業版ふるさと納税】

寄附額の最大 約9割 の税額軽減効果

本社が岡山市外の法人が対象 | 寄附額10万円以上

岡山の未来に投資する企業へ。

寄附申出・制度の詳細



お問い合わせ



岡山市債・財政情報に関するお問い合わせはこちらまで。



OKAYAMA CITY / FINANCE & BOND IR

岡山市 財政局 財務部 財政課



ADDRESS

〒700-8544

岡山市北区大供一丁目1番1号



TEL

086-803-1146



FAX

086-803-1735



E-MAIL

zaiseika@city.okayama.jp



WEB

岡山市ホームページ 市債・財政情報

city.okayama.jp/shisei/0000012526.html



DISCLAIMER

本資料は岡山市の財政・市債情報の提供を目的とし、投資勧誘を目的とするものではありません。掲載内容は2026年10月末現在。発行条件等に変更される場合があるため、正式な発行資料・公告をご確認ください。

